

感染症情報 4月8日～14日

府下小児科197医療機関(堺市19)から

①感染性胃腸炎	1,398例(堺市	71例)
②溶連菌感染症	472例(堺市	47例)
③RSウイルス感染症	233例(堺市	25例)
④手足口病	161例(堺市	3例)
⑤伝染性紅斑	118例(堺市	6例)

府下インフルエンザ定点301医療機関(堺市29)から

インフルエンザ 328例(堺市 17例)

感染症報告数は前週比28.2%増の2,665件であった。

報告数の第1位は感染性胃腸炎で、以下溶連菌感染症、RSウイルス感染症、手足口病、伝染性紅斑であった。

感染性胃腸炎は府下で前週と比して32%増、堺市は6%増であった。溶連菌感染症は府下で28%増、堺市で38%増であった。RSウイルス感染症は府下で16%増、堺市で13例→25例であった。手足口病が府下で89%増、堺市で0例→3例となった。伝染性紅斑が府下で15%増、堺市では8例→6例であった。

インフルエンザは府下で前週285例→今回328例は再度15%増で定点当たりの報告数は0.94→1.09となった。堺市では前週26例→今回17例となった(35%減)。

麻疹は府下で2例あり(堺市はなし)。麻疹の年始からの府内累計報告数は131例となった。

風疹は府下で4例あり(堺市はなし)。風疹の府内累計報告数は108例となった。昭和37年4月2日から昭和54年4月1日生まれの男性に対する『風しんの第5期定期接種』が、堺市でもまずは堺市在住の方を対象にスタートしている。詳しくは、堺市ホームページ<https://www.city.sakai.lg.jp/kenko/kenko/kansensho/yobo/rubella5th.html>へ。